

5 歳児		6 月の月案		
ねらい	期	<ul style="list-style-type: none"> ●気の合う友達とかかわり合って遊びを楽しむ ●身近な小動物や栽培物に親しみをもち、喜んで世話をしようとする ●基本的な生活習慣の必要性に気づき、進んで行おうとする ●夏の遊びを十分に楽しみ、開放感や心地よさを味わいながら遊ぶ 	行事 開園記念日 衣替え 土曜参観 中央幼稚園との交流会 じゃがいもほり 保育参観、懇談会 避難訓練 (火災) 英語で遊ぶ 誕生会 B&G プール	食育 自分達で育てた野菜を収穫して食べる 食後の歯みがき確認
	月	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びや生活を通して友達と一緒に過ごす楽しさを味わう ●友達とのやりとりを通して、互いに思いを伝え合う喜びを感じる ●生活習慣の大切さを知り、進んで守ろうとする ●身近な自然に触れて遊びながら梅雨時の変化を感じる 	歌・手遊び等 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな古時計 ・時計のうた ・トマト ・水あそび ・雨ふりくまのこ 	安全健康教育 雨の日の安全な過ごし方 梅雨時の衛生週間
			教材・卒園アルバム製作 時計作り (厚紙、割りピン、丸シール、カラー工作紙、空き箱等) しゃぼん玉 (マーブリング液、画用紙) 七夕製作 (貝つなぎ、短冊、折り紙) 写真 (じゃがいも掘り B&G)	絵本・紙芝居等 「そらめくんのベッド」 「わらってよかのひしゃん」 「おしゃれなおたまじゃくし」
ねらい		予想される幼児の姿	教師の援助と環境の構成	
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの清潔に関心をもち梅雨時の健康に気をつけて過ごす。 ○水遊びやプール遊びで遊ぶことの心地よさや楽しさを味わう。 ○進んで体を動かして遊ぶ。 ○気候に合わせて衣服を調整したり、汗をふいたりする。 ○自分達で遊びを広げたり、継続したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ○簡単なルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ。 ○友達と思いや考えを出し合いながら楽しく遊ぶ。 ○友達と考えたり試したりして繰り返し遊ぶ。 ○小動物や虫に親しみ、見たり触れたりする。 ○夏野菜や一鉢栽培の変化や生長に気づき、触れたり調べたりする。 ○発見したことや感じたことを相手にわかるようにする。 ○友達と一緒に絵本や紙芝居を見たり聞いたりすることを楽しむ ○自分なりのイメージを持って作ったり描いたりすることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・うがい、手洗い、歯磨きを丁寧にする。 ・汗の始末、衣服の調節をする。 ・水遊び、プール遊びをする。(色水作り、水鉄砲、船作り、B&G プール等) ・戸外で思い切り体を動かして遊ぶ。(巧技台、ディズニー体操、グーパージャンプ、けんけんぱ、かけっこ等) ・簡単なルールのある遊びをする。(集合ゲーム、ドッジボール、じゃんけん列車等) ・数人の友達とお互いに思ったことを伝え合って遊ぶ。(ごっこ遊び、運動遊び等) ・年中まで仲がよかった友達だけでなく、新たな友達とも遊ぶ幼児もいる。 ・田んぼにおたまじゃくしを捕りに行く。 ・飼育物、栽培物の観察や世話をする。(オタマジャクシ、一鉢栽培、プランター等) ・ジャガイモ掘りをする。 ・きゅうり、ミニトマト等を収穫する。 ・挨拶を交わしたり、相手の話に関心をもちて聞き、友達の思いをわかってもらう。 ・絵本や紙芝居を見る。 ・紙皿や割りピンを使って簡単な時計作りをする。 ・個人用絵の具で描くことを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ☆うがい、手洗い、歯磨きなどの仕方を確認し清潔に気をつける気持ちを育てていく。手洗いでは爪や手首まで意識して洗えるよう洗い方を皆で確認し合い、幼児自身も意識できるようにする。 ☆気候に合わせて衣服の調節や汗をふく、水を飲む、着替えたりするなどが自分達で考えてできるように意識つけていく。 ☆皆と一緒に水の感触を楽しみながら、のびのびと気持ちを解放させて遊べるように援助する。 ☆それぞれのグループの遊びが充実できるように、素材や道具を豊富に用意し、幼児達が自分で使えるように環境を整え、遊びが継続できるようにしていく。 ☆簡単なルールのある遊びを皆で取り組み、「一緒に遊ぶことは楽しい」ということが味わえるようにしていく。 ☆園の近くの田んぼでオタマジャクシを捕ったり、畑で虫を捕まえ等、身近な自然が感じられるようにする。また、自分達で飼ったり世話をしていくことで命あるものを大切に扱う気持ちを育てていく。 ☆栽培物の世話をすることや収穫することを楽しみ、食べ物への感謝の気持ちや食べる喜びが感じられるようにする。 ☆自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け入れたりできるように、教師が繰り返し丁寧にかわり、思いを伝え合いながら一緒に遊ぶ楽しさを感ぜられるようにしていく。 ☆遊びに必要な材料や用具を用意したり、子どもたちのイメージにあった材料を一緒に探したりして、自分たちのやりたい遊びが実現できるようにする。 ☆個人用絵の具は年長のみが使える物なので、使えることの嬉しさや年長の自覚を大切に受け止め、色を混ぜたり色の発見や不思議さを試す時間を十分確保しながら、丁寧に使い方を指導していく。 	
人間関係				
環境				
言葉				
表現				
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児達の人間関係が広がり思いのすれ違いからトラブルも増える時期なので、日々の出来事や一人一人の思いや心の変化を読み取り、成長につなげられるよう家庭と連携を図る。 ・親子で触れ合うことの楽しさや、幼児の心の安定につながることを保育参観等で伝え家庭でも触れ合いや一緒に遊ぶ時間を大切にできるようお願いしていく。 ・爪を短く切り清潔に保てるよう保護者にも伝えていく。 	評価・反省のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達と一緒に遊んだり生活する楽しさが味わえているか。 ◎互いの思いを伝え合い、友達と過ごす楽しさを感ぜられたか。 ◎手洗い、うがい、着替え等生活習慣を守ろうとしていたか。 ◎身近な自然に触れて遊び、梅雨時の変化を感ぜられたか。 	